

平成27年5月22日

守谷市議会議長 殿

報告者 高梨 隆 印

文教福祉常任委員会・筑西市立中央図書館視察研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	平成27年5月19日（水）	
視察・研修場所	筑西市立中央図書館	
視察・研修項目	図書館の指定管理者制度導入について	
参加者	守谷市側	文教福祉常任委員会委員（高橋典久・高梨恭子・川名敏子・佐藤剛史・渡辺秀一・高梨隆） 教育部長，事務局職員2名
	相手側	大谷昌良（生涯学習課長）根岸廣道（筑西市立中央図書館長） 砂川靖雄（明野図書館長）TRC職員（指定管理者）
視察・研修目的	図書館の指定管理者制度導入について	
視察・研修内容	図書館の指定管理者制度導入について（別紙参照）	
視察・研修総括 （今後の取組み等）	昨年4月から図書館の指定管理者制度導入をした筑西市の図書館を視察し、導入の経緯・問題点などを知ることができた。	

視察・研修内容

図書館の指定管理者制度導入について

1、 図書館の指定管理者制度導入についての経緯について

H17 年市町村合併により筑西市誕生

公共施設に指定管理者制度導入指針策定

H22 年指定管理者制度導入が可能と思われる施設の一つとして図書館を選定

H23 年 10 月 図書館を制度導入施設として位置づけ、準備を進めるよう指示

H25 年筑西市行政改革推進本部会議において図書館の指定管理者制度導入が決定。H26 年度での導入を決定

H25 年 6 月 設置条例改正（6 月議会で議決）

H25 年 7 月 図書館指定管理者募集開始、仕様書により公募

H25 年 12 月 指定管理者指定、債務負担行為設定議決案の議決（12 月議会）

H26 年 3 月 基本協定書の締結

H26 年 4 月 1 日～指定管理者による業務開始

2、 制度を導入するにあたっての問題点

●想定されるメリット

住民のニーズに対し効果的かつ効率的に対応できる。

民間の能力を活用しつつ住民サービスの向上を図るとともに経費の削減を図る。

開館日数の増、開館時間の延長、自主事業の展開、学校図書館の支援強化

●想定されるデメリット（基本的にはないものと考えている）

住民サービスを置き去りにした経費削減への偏重

指定管理者業務が有期限であることからの継続性の懸念

地域や利用団体のネットワーク形成に対する不安

指定期間（5 年間）満了後、同じ業者が指定を受けられる保証がない。

3、 指定管理者制度を導入してからの図書館サービス内容等の変化について

●開館日数・開館時間・従事者の人数について

開館日数 293 日 → 315 日（22 日間の増加）

開館時間 2336 時間 → 3150 時間

従事者の人数 中央図書館 17 名（職員 10 名、臨職 7 名）→25 名

明野図書館 9 名（職員 6 名、臨職 3 名）→8 名

- 新規サービスについて
 - ナクソスミュージックライブラリー
 - 展示ギャラリーの一般開放
 - ツイッターでの情報発信
 - 館内オーパックのでの予約など
 - WEB 予約の拡大

- 自主事業について
 - 茨城県内初の電子図書館開設
 - ・利用者の評判、アンケート
 - 県内初の電子図書館開設について

4、今後の課題について

- 司書有資格者などの人材確保
 - 採用にあたっては、基本的には有資格者を優先するが、人柄を優先
 - 現在の司書率対象者 26 名中有資格者 20 名、司書率 76.9%
- サービス低下につながるような事例は。(以前のほうがよかった)
特にありません。
 - 好評価を得ている点 開館時間、開館日数の増加、貸出資料数の増加
 - ミュージックライブラリーのサービス提供、電子図書館の導入
- 長期的継続性に関する不安
 - 指定管理者導入にあたって不安の払しょく
 - 第一次審査を書類審査とし、第二次審査をプレゼンテーション及びヒアリングとい、委員会による会議を開いて選定に至る。業者の経営状況、業務実績、業務に対する意欲などを総合的に勘案して契約に至っている。
 - 年度末に「指定管理者業務実績シート」「総合モニタリングシート」を作成し、また指定管理者からの決算書類の提出を求め、第三者評価委員会による評価・検証を行う。

5、説明の後、質疑が活発に行われた。
各委員の質疑と回答は次のとおりであった。

- 年間の経費削減額は…年間 約 7500 万円
- 年間の指定管理の費用…2 館で 1 億 5 千万円
- ボランティアグループへの説明…準備の段階で周知していった・導入への反対はなかった。
- 新たに必要な事業が発生した時…追加の料金を求めることになる
- 電子図書館の設置…空調の節電などで節約した経費で自主的に提案して実現
- 職員の勤務体制は…数時間単位で細かくシフトを組み対応している
- 学校図書館やボランティアとの連携は…教育長が学校訪問時に同行し、各学校の意見を聞いている。
- 指定管理者としての図書館長の考えは…国で行うべきだという考えと民間活力の違いがあるが、各自治体の民意や環境により違う。
- 指定管理者導入で、図書館の画一化にならないか…ならないようにしている
- サービスの提供が増えた場合の指定管理料の変更は…追加の料金を求める
- 守谷の図書館は筑西の図書館と比較してどう思うか…大きな違いは、市民の民力が違うと思う。

6、図書館内を見学しながら説明を受けた。

最後に、筑西市立中央図書館視察研修で得たものを、整理し、さらに研究し来る第 2 回定例議会審議に生かしていきたいと考える。

以上